



イマジン
ロータリー

2022～2023年度

滝川ロータリークラブ

会長 藤井 謙和

- 例会日：毎週木曜 PM12:30より
- 例会場：ホテル三浦華園
- 住 所：滝川市花月町1-2-26
- 電 話：(0125)-22-3344
- F A X：(0125)-24-2755
- メール：takikawarc@gmail.com
- WebSite：www.rotary.gr.jp

第3327回 例会報告 令和5年1月19日 (木)

会長挨拶



1月の新年会も終わり、多少の寒暖差はございますが穏やかな日が続いております。少し先の話になりますが、3月には日銀の黒田総裁が退任され、国会でも国債の発行について岸田総理が説明しておりますが、2022年度末には1,029兆円に上ると見込まれ上昇の一途をたどっております。債務残高はGDPの2倍を超え主要先進国の中で最も高い水準にあり、世界第2位の超債務国です。小学校1年生の時、日本国は倒産し親の貯金はゼロになりました。もし、日本経済が破綻すれば皆さんの貯金もゼロになりますし、いくらお金を持っていても使えませんので金を買って持っている方が安心かもしれません。目まぐるしく変わる経済の動向を刮目しながら、この難局を乗り越えていきましょう。

幹事報告

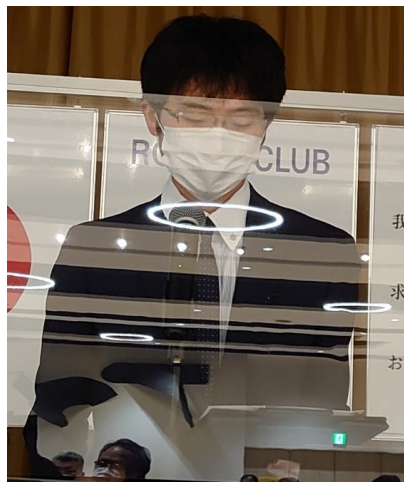


1. 赤平・芦別・砂川・深川・留萌・羽幌RCより例会プログラムが、赤平・砂川・深川・羽幌RCより会報が届いております。
2. 本日より鷲尾会長年度の第1回理事会が開催されますので藤井会長年度に引き続きご協力賜りますようお願い申し上げます。

前回のプログラム (2)

(右の続き) ボーリング孔は最終的には7センチと極めて小さくなるので崩落の心配がありません。以前石炭の採掘に使用された空隙を利用し、そこにCO2を戻し入れます。CO2と反応して固まるセメントミルクみたいなCO2スラリーを使用して安定的に地下に止めます。将来的な目標ですが地域資源を活用して水素エネルギーを作り、地域に供給することで災害に強い安心安全なまち作りを行います。水素の特徴は保存や運搬がしやすいので有効に活用でき、エネルギー事業の発展が望めます。この事業を通じて多くの人や企業との連携が生まれており、三笠市をフィールドとした産業開発に取り組んで参ります。三笠市長が日頃言っている「現状維持は衰退の道」という言葉を肝に銘じ、これからも色々な事にチャレンジして参ります。

前回のプログラム [講師卓話]
 - ゼロカーボンシティの実現にむけ、
 未利用資源を活用したブルー水素エネルギー
 事業について -
 【職業奉仕担当例会】



三笠市産業政策推進部
 産業開発課 主任主事
 菅 俊吾 様

三笠市は2050年にCO2排出量実質ゼロを目指す、ゼロカーボンシティ宣言を致しました。この鍵となる技術の一つがハイブリッドガス化水素製造、もう一つがCO2地下固定です。片方だけではなくこの両方を実現する事がCO2排出量実質ゼロに向けて必須になる項目です。まず、一つ目の水素製造の仕組みは石炭の地下ガス化です。これは地下から石炭を掘り出すのではなく、地下にある状態のままボーリングを行い石炭を火燃し石炭からガスをとってエネルギーにします。もう一つのCO2地下固定の仕組みは3～400メートルの相当深い石炭層を対象にし、(左に続く)

＼(^o^)／ニコニコBOX報告 (敬称略)

石黒安雅・入井浩樹・上田恒太郎・太田孝司・奥山かおる
 河戸三千之・篠島 弘・田端千裕・星野秀人・宮崎英彰
 向井由延・山口恵子・山崎 修
 <小計44,000円・累計1,310,050円>

編集/クラブ会報委員会 発行日：令和5年01月24日

出席報告 1月19日

会員数	病欠	免除	出席	欠席	出席率
89名	1名	4名	52名	37名	62%

- メイクアップ： 入井会員 (1/13学友会)
- ゲスト： 三笠市産業政策推進部 産業開発課
 課長 音羽 英明 様
 主任主事 菅 俊吾 様

【今週の寄付】 (敬称略)

- ◆ 米山： 安達晃幸・桜井寿紀・谷口正樹・丹 芳男
 西田浩二・畠山かおる
 <小計78,000円・累計736,000円>
- ◆ 財団： 桜井寿紀・谷口正樹・丹 芳男・畠山かおる
 <小計600ドル・累計6,723ドル>